

などに對し、「中国共産党の指揮に従い、戦争に打ち勝つ強い軍を作るという目標に向けて、断固として国家主権や安全、発展の利益

地球を

読む



日本人の平均寿命は1947年当時、男子50歳、女子54歳。これが2011年には男子80歳、女子86歳。約60年間で実に30歳も伸長した。長い人生の後半期を健康に、豊かに生きるにはどうすれば良いのか？



垣添 忠生

日本対がん協会
会長

超高齢化社会

応分負担で社会保障維持

外なく進む。日本はそのトツプを走っているに過ぎない。世界最速で人類未体験のゾーンにいち早く足を踏み入れる我々が発揮すべき叡智を、世界は注視している。

まず第一に、迂遠なよう

だが、人生80年の生活設計を、中高校生を中心とする青少年にきちんと教育する必要がある。食事や運動の大切さ、たばこの害、人はいつか死を迎えるという死の準備教育。これらを正確に伝え、生涯にわたる生活

青少年に対する教育などは直ちには効果が出ない。そこで、超高齢社会に對処するための処方箋を次々と出す必要がある。その際、少子高齢化による人口減を念頭に置き、かつ世界に冠たるわが国の健康保険制度を守る、介護保険制度を安定維持するという視点が欠かせない。A2面に続くV

習氏が14日に国家主席に就任して以降、公式の場で演説するのは初めて。習氏は「わが国は今日、世界の

家を「富強」を達成する必要があると指摘し、「愛国主義は中華民族を強固に團結させる精神的な力だ」とも述べ、国民の愛国心を鼓舞

ことは、決して揺らぐことのない意志である」と強調した。尖閣など具体的な地名には言及しなかった。

へのハッカー攻撃に中国が関与しているとの指摘に對しては、「根拠のない非難はやめた方がいい」と反論した。A関連記事4面V

んで骨折し、入院生活をするうちに認知症が進みやよくなる。さらに、気管支に食べ物や水分をのみ込む誤嚥を防ぐために胃瘻が造設され、1、2か月のうちに容貌まで別人のように変わり果てる人が、今の日本に何と多いことか。

を、前向きにとらえることはできないものか？

国連人口基金の「21世紀の高齢化報告書」によれば、60歳以上の人口が3割を占める国は、現在は日本だけだが、50年には64か国になる。高齢化は世界中で例

こによる慢性閉塞性肺疾患(COPD)やがんなどが予防され、人は健康に老いることができる。

首相がTPP交渉に参加

地球を

読む

1面の続き

垣添忠生氏 1941年生
 東大医学部助手などを
 経て国立がんセンター病院勤
 務。手術部長、院長、総長、
 名誉総長を歴任。2007年
 3月から現職。

00億円の国費が投入され
 ている。それを考えると、
 私も含め高齢者にも応分の
 負担を求めることはやむを
 得ない。法律の規定通り2
 割負担にすべきである。

消費税導入は1989
 年。その後、2000年に
 介護保険制度が開始され
 た。当初の利用者は149
 万人で、施設と居宅サービ
 スが中心だった。25年には、
 利用者が500万人に達す
 ると想定され、身体ケアの
 みならず認知症ケアの急増
 が見込まれる。

後期高齢者医療制度がス
 タートした08年、70〜74歳
 の医療費の窓口負担を1割
 に抑える特例措置が実施さ
 れた。そのために毎年20

の整備や、フルタイムはも
 ちろん、パートタイムの職
 種の増加等、女性が働きや
 すい環境を整える必要があ
 る。IMF(国際通貨基金)
 の初の女性トップ、クリス
 ティーナ・ラガルド専務理
 事が、昨年、来日した際、
 「女性が日本を救うことが

の整備や、フルタイムはも
 ちろん、パートタイムの職
 種の増加等、女性が働きや
 すい環境を整える必要があ
 る。IMF(国際通貨基金)
 の初の女性トップ、クリス
 ティーナ・ラガルド専務理
 事が、昨年、来日した際、
 「女性が日本を救うことが

し、がん細胞だけを破壊す
 る分子標的薬や粒子線治療
 などの高価な先進医療を全
 額患者負担で行う、実質的
 な混合診療が行われている
 る。先進医療制度と呼ばれ
 るものである。

たちに広げていくには、先
 進医療制度の拡充・弾力化
 はやむを得ないと思う。
 一方、医療の重複や無駄
 を省くには、各医療機関の
 患者情報をITにより一元
 管理する共通番号制の導入
 を急がなくてはならない。
 がん検診で早期に発見さ

題である。
 ただ、私は、がん検診に
 も一定の年齢上限を設ける
 べきだと思ふ。米国では85
 歳以上の大腸がん、65歳以
 上の子宮頸がんなどは、が
 ん検診の対象から外してい
 る。わが国でも、一定年齢
 以上の人には自費で受検し
 てもらう措置が必要ではな
 いか。

医療費抑制の工夫も必要

できる」と発言したことは、
 記憶に新しい。

国民医療費は10年度で37
 兆4200億円。毎年約1
 兆円ずつ増加している。背
 景としては、人口高齢化に
 も増して、技術の高度化が
 要因と指摘される。

的に有意に患者の生命を延
 長させると報告されても、
 わずか1〜2か月の延命の
 ため高額な医療費が使われ
 ることを容認していない。

れたがんの医療費は、進行
 期の患者が、延命医療を望
 まない意思を文書で示して
 いれば、人工呼吸器をつけ
 たり、人工的に栄養を補給
 したりしないで死に至って
 減というインセンティブ
 (誘因)を与えることで、
 検診受診者を増やすことも
 考えて良い。また、偏狭な
 保険財政論から、検診や予
 防を医療に含めないのも問

する、過剰な医療の揚げ句
 の不幸な死を目にするにつ
 け、私は尊厳死法案を支持
 する。

は、高く評価できる。だが、
 増大する社会保障費は、消
 費増税だけではまかない切
 れない。富裕層への相続税
 や所得税の増額も含めな
 いと、事態に対処し切れない
 との指摘もある。社会の全
 階層に応分の負担を求める
 ことによって、危機を乗り
 越える必要がある。

がんの領域では、保険が
 つ新しい治療を希望する人
 防を医療に含めないのも問

わが国でも、新たな技術
 をすべて保険診療にとり込
 んだら、保険制度は破綻す
 る。保険診療を維持し、か
 減らしたくない患者
 死を考る際にも深くかか
 わってくる。

だれしも自分の死のあり
 方を真剣に考えることが必
 要な時代に生きているとい
 う自覚も必要であろう。こ
 の問題は、在宅医療、在宅
 死を考る際にも深くかか
 わってくる。

は、高く評価できる。だが、
 増大する社会保障費は、消
 費増税だけではまかない切
 れない。富裕層への相続税
 や所得税の増額も含めな
 いと、事態に対処し切れない
 との指摘もある。社会の全
 階層に応分の負担を求める
 ことによって、危機を乗り
 越える必要がある。

は、高く評価できる。だが、
 増大する社会保障費は、消
 費増税だけではまかない切
 れない。富裕層への相続税
 や所得税の増額も含めな
 いと、事態に対処し切れない
 との指摘もある。社会の全
 階層に応分の負担を求める
 ことによって、危機を乗り
 越える必要がある。

は、高く評価できる。だが、
 増大する社会保障費は、消
 費増税だけではまかない切
 れない。富裕層への相続税
 や所得税の増額も含めな
 いと、事態に対処し切れない
 との指摘もある。社会の全
 階層に応分の負担を求める
 ことによって、危機を乗り
 越える必要がある。

Otsuka 大塚製薬

「タイプはたくさん
 食べるヒト♡」
 と言われ続けて
 巨大化に。

ダブルトクホ
 脂肪だけじゃなく
 糖分の吸収も抑える。
 賢者の食卓
 ダブルサポート

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。
 大塚製薬 お客様相談室 ☎0120-550708

英文はあすのデイリー・ヨ
 ミワリに掲載する予定です